

平成27年3月期 決算短信 (非連結)

平成27年5月29日

会 社 名 マイコロジーテクノ株式会社
 コード番号 3145
 代 表 者 代表取締役 津野 芳彰
 問い合わせ先 代表取締役 津野 芳彰

上場取引所等 GR
 本社所在都道府県 新潟県
 T E L (025) 250-7335

1. 27年3月期の業績 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	千円	%	千円	%	千円	%
27年3月期	60,299	(24.9)	△56,435	(-)	△54,342	(-)
26年3月期	48,261	(9.2)	△68,582	(-)	△71,322	(-)

	当期純利益	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
27年3月期	△55,794 (-)	△ 723 76	—	△3098.5	△81.1	△ 90.1
26年3月期	△71,892 (-)	△ 959 96	—	△874.0	△76.8	△147.7

(注) ①期中平均株式数

27年3月期 77,090株

26年3月期 74,891株

②会計処理の方法の変更 有・**(無)**

③売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率を表示しております。

④潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	千円	千円	%	円 銭
27年3月期	70,346	1,402	2.0	18 19
26年3月期	63,725	2,198	3.4	28 52

(注) 期末発行済株式数

27年3月期 79,107株

26年3月期 77,085株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
27年3月期	△47,031	△21,302	66,998	4,333
26年3月期	△27,477	△26,605	13,840	5,668

2. 28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	千円	千円	千円
通 期	75,175	△33,272	△33,272

(参考) 1株当たり予想当期純損失(通期) 420円 59銭

3. 配当状況

・現金配当

	1株当たり配当金 (円)						配当金総額 (千円)	配当性向 (%)	純資産 配当率(%)
	第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	その他	年間			
26年3月期	—	—	—	0	—	0	—	—	—
27年3月期	—	—	—	0	—	0	—	—	—
28年3月期 (予想)	—	—	—	0	—	0			

4. コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

(コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方)

当社は公正かつ効率的な経営に取り組むにあたり、コーポレート・ガバナンスが重要な課題であると認識しております。そのため、経営の意思決定の内容及び過程を明確にし、利害関係者の意思や利益を適切に反映していくように努めております。

(コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況)

当社の取締役会は、平成27年3月31日現在3名で構成し、会社法に定められた取締役会のほか、必要に応じて臨時取締役会を開催し、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行の状況を逐次監督しております。

また、継続ディスクロージャーサポートについては、公認会計士の指導を受けながら、経営情報の迅速な開示を目的として、株主及び投資家に対して決算データ等の情報開示に努めております。

5. 反社会的勢力との関係排除への仕組みとその運用状況

(1) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社は、市民生活の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会生活の発展を妨げる反社会的勢力に対しては毅然とした態度で組織的に対応しております。

(2) 反社会的勢力排除に向けた整備状況

総務部を対応部署とし、不当要求などの事案ごとに関係部門と協議し、対応する体制を整備しております。また、反社会的勢力に関する情報を集中し一元管理するとともに、反社会的勢力に該当するかの確認を行っております。

平成 27 年 5 月 29 日

第 12 期 決算速報

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

会社名(定款上の商号)	マイコロジーテクノ株式会社
英文名(英文商号)	MYCOLOGY TECHNO. CORP.
コード番号	3145
代表者の役職氏名	代表取締役 津野 芳彰
本店の所在の場所	新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号
電話番号	025-250-7335
連絡者	代表取締役 津野 芳彰

I 当期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日		第 12 期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日	
	金額	百分比	金額	百分比
I 売上高	48,261	100.0	60,299	100.0
II 売上原価	46,497		43,948	
売上総利益	1,763	3.6	16,351	27.1
販売費及び一般管理費	70,345		72,787	
営業損失	68,582	△142.1	56,435	△93.6
III 営業外収益	1,144		5,815	
IV 営業外費用	3,885		3,721	
経常損失	71,322	△147.7	54,342	△90.1
特別損失	-	-	1,002	1.7
税引前当期純損失	71,322	△147.7	55,344	△91.8
法人税、住民税及び事業税	570		450	
法人税等調整額	-		-	
当期純損失	71,892	△148.9	55,794	△92.5

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	第 12 期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日
	期 中 平 均 株 式 数	74,891 株	77,090 株
1 株 当 た り 当 期 純 損 失		959 円 96 銭	723 円 76 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 た り 当 期 純 利 益		一円一銭	一円一銭

＊潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業部門	期 別	第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日		第 12 期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日	
		金額	構成比	金額	構成比
マイコロジー事業		-	-	10,000	16.6%
健康食品事業		48,261	100.0%	50,299	83.4%
合 計		48,261	100.0%	60,299	100.0%

(3)貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第 11 期 平成 26 年 3 月 31 日現在		第 12 期 平成 27 年 3 月 31 日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産				
現金及び預金	5,668		4,333	
売掛金	21,890		33,977	
商品	-		-	
製品	8,100		5,618	
半製品	4,179		2,332	
原材料	4,024		1,813	
仕掛品	19,664		21,394	
前払費用	652		649	
未収入金	170		551	
その他	△3,667		△3,185	
流動資産合計	60,684	95.2	67,484	95.9
固定資産				
有形固定資産				
工具器具備品	79		0	
有形固定資産合計	79	0.1	0	
投資その他の資産				
敷金	2,849		2,839	
長期前払費用	112		22	
投資その他の資産合計	2,961	4.7	2,861	4.1
固定資産合計	3,040	4.8	2,861	4.1
資産合計	63,725	100.0	70,346	100.0

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

期 別 科 目	第 11 期 平成 26 年 3 月 31 日現在		第 12 期 平成 27 年 3 月 31 日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%
流動負債				
買掛金	8,589		4,334	
短期借入金	49,000		61,000	
未払金	2,164		1,794	
前受金	-		-	
預り金	374		486	
未払法人税等	1,398		1,328	
流動負債合計	61,526	96.5	68,943	98.0
負債合計	61,526	96.5	68,943	98.0
(純資産の部)				
株主資本				
資本金	410,124	643.5	437,623	622.1
資本剰余金				
資本準備金	358,124		385,623	
資本剰余金合計	358,124	561.9	385,623	548.2
利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	△766,049		△821,843	
利益剰余金合計	△766,049	△1,202.1	△821,843	△1,168.3
株主資本合計	2,198		1,402	
純資産合計	2,198	3.4	1,402	2.0
負債・純資産合計	63,725	100.0	70,346	100.0

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第 11 期 平成 26 年 3 月 31 日現在	第 12 期 平成 27 年 3 月 31 日現在
発 行 済 株 式 数	77,085 株	79,107 株
1 株 当 た り 純 資 産	28 円 52 銭	18 円 19 銭

(4)株主資本等変動計算書

前事業年度（自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日）

(単位：千円)

項目	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他利益 剰余金		
			繰越利益 剰余金		
平成 25 年 4 月 1 日残高	380, 204	328, 204	△694, 156	14, 251	14, 251
事業年度中の変動額					
新株の発行	29, 920	29, 920	－	59, 840	59, 840
当期純損失	－	－	△71, 892	△71, 892	△71, 892
事業年度中の変動額合計	29, 920	29, 920	△71, 892	△12, 052	△12, 052
平成 26 年 3 月 31 日残高	410, 124	358, 124	△766, 049	2, 198	2, 198

当事業年度（自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日）

(単位：千円)

項目	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他利益 剰余金		
			繰越利益 剰余金		
平成 26 年 4 月 1 日残高	410, 124	358, 124	△766, 049	2, 198	2, 198
事業年度中の変動額					
新株の発行	27, 499	27, 499	－	54, 998	54, 998
当期純損失	－	－	△55, 794	△55, 794	△55, 794
事業年度中の変動額合計	27, 499	27, 499	△55, 794	△796	△796
平成 27 年 3 月 31 日残高	437, 623	385, 623	△821, 843	1, 402	1, 402

(5) 重要な会計方針

項 目	第 12 期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日
1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法	総平均法に基づく原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定しております。）
2. 固定資産の減価償却の方法	有形固定資産（リース資産を除く） 定率法 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 工具器具備品 5 年 リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
3. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項	株式交付費 支出時に全額費用として処理しております。 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

(7) 追加情報

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日）を適用しております。

Ⅱ 第12期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の業績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府および日本銀行の継続的な経済政策や金融政策により収益改善がみられる企業が増加しました。しかし内閣府の10～12月GDP速報(平成27年3月9日)では、実質成長率、名目成長率ともに1次速報値から下方改定となるなど予断を許さない状況が続いています。

平成26年7月25日に行われた「越後白雪茸研究会」以降、越後白雪茸に大手企業からの引き合いが増えてきました。特にレスベラトロールを加えた越後白雪茸製品「蘇りレスベラ」のOEMの受注ならびに、成分を変化させた新企画の共同開発についての依頼がきています。

50mlドリンクの「アルビタ」が徐々に出荷数が増える中、このサイズの越後白雪茸製品の企画依頼もいただくようになってきました。

また越後白雪茸製品のOEM「バシックス」は、全国で説明会を開き、取扱店を拡大し、安定して受注が続いています。

その他に、平成26年7月30日に消費者庁から「食品の新たな機能性表示制度に関する検討会」報告がありました。

効果効能に一定基準以上のエビデンスのある健康食品の表示について、表示規制が緩和される方針が出されました。これからの健食業界は、偽物が淘汰されて、エビデンスのある本物だけが残る時代が到来すると考えられます。

大手企業からの受注に耐える生産技術の向上に努め、今期は菌床の単位収穫量が2年前に比較して倍増しています。

茸自体の有用性につきましても、成分分析を行い個体差の無いように検証をしています。新潟薬科大学を中心に機能性の実験を行いながら、金沢大学と有効成分の物質を特定するために共同研究を行っています。

今期は、Wikipediaにて日本語、英語でも越後白雪茸が紹介されました。今後も越後白雪茸の認知度を向上させるための活動を講演会の開催、学会への参加等、広く行っています。

以上の結果、当期の売上高は60,299千円(前年比24.9%増)、営業損失56,435千円(前期 営業損失68,582千円)、経常損失54,342千円(前期 経常損失71,322千円)、当期純損失55,794千円(前期 当期純損失71,892千円)となりました。

Ⅲ 第12期の売上高及び利益の予測について

(単位：千円)

科 目 \ 期 別	第12期(実績) 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	第13期(予想) 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売 上 高	60,299	75,175
営業利益又は損失(△)	△56,435	△30,932
経常利益又は損失(△)	△54,342	△33,272
当期純利益又は純損失(△)	△55,794	△33,272

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	第 12 期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日
現 金 及 び 預 金 の 増 減 額	△35,827	△1,335
現 金 及 び 預 金 の 期 首 残 高	41,496	5,668
現 金 及 び 預 金 の 期 末 残 高	5,668	4,333

(主な増減理由)

当事業年度の主な増減理由は以下のとおりです。

株式の発行による収入 54,998 千円、短期借入金の増加 12,000 千円、たな卸資産の減少 4,809 千円（以上現金及び預金の増加要因）、税引前当期純損失 55,344 千円、売上債権の増加 12,086 千円、仕入債務の減少 4,254 千円（以上現金及び預金の減少要因）によります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	第 12 期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日
短 期 借 入 金 の 増 減 額	46,000	12,000
短 期 借 入 金 の 期 首 残 高	95,000	49,000
短 期 借 入 金 の 期 末 残 高	49,000	61,000

(主な増減理由)

当事業年度の増加は、借入 58,000 千円、返済 46,000 千円によるものであります。

(3) 長期借入金の増減(1 年内返済予定長期借入金を含む)

該当事項はありません。

V その他

第三者割当による新株式の発行

平成27年3月9日開催の当社取締役会において決議されました、平成27年3月31日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 発行新株式数 | 普通株式 2,022株 |
| ② 払込金額 | 1 株につき普通株式 金27,200円 |
| ③ 払込期日 | 平成27年3月31日（金） |
| ④ 資本増加日 | 平成27年3月31日（金） |
| ⑤ 調達資金額 | 54,998,400円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 借入金の返済に充当しました。 |